

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 09-02-01	事務事業名 道路の新設改良及び拡幅事業	所管部課 都市整備部 道路建設課
-------------------	------------------------	------------------------

施策コード 安1-2	施策名 道路・交通の整備	施策目標 道路・交通を整備し、市民の日常生活における利便性、安全性の向上をめざします。
---------------	-----------------	--

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	市民の安全性・利便性・防災面に配慮した新設改良・拡幅その他必要な工事を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 市道の拡幅・改良工事並びに老朽化した道路の路面補修を行う。 毎年、道路整備計画路線の選定について道路選定委員会に諮り、道路の種類(幹線、バス路線、生活道路)毎に交通量並びに道路の老朽化の判定を基に決定する。 工事費の一部に補助金(東京都市町村土木補助等)を充当している。	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		199,602	218,431	175,976	174,748
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		21,840	17,100	15,000	7,800
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		177,762	201,331	160,976	166,948
所要人員(B)	人	2	2	2	2
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	16,330	16,160	16,160	16,330
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	215,932	234,591	192,136	191,078
単位当たりコスト (E)=(D)/(市道改良延長)	千円	84	88	110	92

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 市道改良延長	実績値 m	2,566	2,658	1,752	2,070
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一次	目標値				
	実績値				
二次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
毎年、道路整備計画延長が増減して、計画工事延長が変わる(追加整備する路線が増となり、完了した路線は減となる)ため、指標の工事延長の設定は難しい状況である。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	平成22年9月に実施した市民意識調査では、円滑な車両交通のための幹線生活道路整備の満足度は第9位という下位に位置している。また、少数であったが西東京市より転出した理由の1つとして、道路等の都市基盤が不備であるとの意見があった。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 平成19年に管理する道路延長規模が同程度の5市(本市を含む)について調査を行った。事業費、施工延長とも本市は上位(2番目)となっている。本市は、道路改良工事よりも路面補修工事の割合が多くなっているため、単位当たりコストは本市が最小額である。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 09-02-01	事務事業名 道路の新設改良及び拡幅事業	所管部課 都市整備部 道路建設課
-------------------	------------------------	------------------------

施策コード 安1-2	施策名 道路・交通の整備	施策目標 道路・交通を整備し、市民の日常生活における利便性、安全性の向上をめざします。
---------------	-----------------	--

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>適正な管理を充実させ、体系的道路網の構築・歩行者にやさしい交通安全対策（歩行者が安全に通行できるバリアフリー化した空間の確保）等の改良整備事業を進めている。</p> <p>また、市民から老朽化した道路補修について、多くの要望が寄せられている。老朽化が激しい路線順に補修工事を実施しているが、要望に応えきれないのが現状である。着実な実施を図っていきたい。</p>
	事業の 必要性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の 妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービス の相手方	3	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の 適切さ	3	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の 適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの 把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>現在、150余路線の整備が留保されているが、財政面などの事情から、単年度での整備件数には限度があり全てを短期間で整備することは極めて困難な状況となっている。こうした中、当該事務の処理フローを再点検し、より一層の工夫や改善余地がないか検証することが求められる。一方、路面補修整備に対する市民の関心度は高いことから、整備路線の選定基準や選定過程の客観性・透明性の確保に留意した適切な対応に努めるとともに、計画的対応の側面からは、年次毎の整備計画等を通じて市民理解を得ることが重要である。</p>
	事業の 必要性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施	
	事業主体の 妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し	
B	直接のサービス の相手方	3	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し	
	事業内容等の 適切さ	3	<input type="checkbox"/> 休止	
	受益者負担の 適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止	
C	市民ニーズの 把握	2		

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、基礎的インフラとして、体系的な道路網の構築を図るとともに、路面損傷の大きい市道の補修を行うもので、安全性・快適性の確保の観点からも重要性が高い。</p> <p>なお、二次評価では年次毎の整備計画策定が提起されているが、限られた予算を効率的に執行する観点から見ると、協議の整った路線から順次着手する柔軟性が求められる点にも配慮が必要であり、年次計画を策定した場合には事業執行が硬直化し、結果的に非効率となることが懸念される。一定の優先順位付けを行って計画的に事業実施に向けた調整に当たりつつ、柔軟な事業執行により整備促進に努められたい。</p>